

経鼻インフルエンザワクチン フルミスト確認票

◇経鼻インフルエンザワクチン「フルミスト」とは

従来の注射によるインフルエンザワクチン(不活化ワクチン)とは異なり、鼻から投与するタイプの弱毒生ワクチンです。

注射ではないためお子様の負担が少なく、接種も1回で済むためご家族様の手間も少なく済みます。

アメリカをはじめとする諸外国では何年も前から接種が行われておりましたが、日本ではなかなか承認が得られず、一部のクリニックで海外から輸入したワクチンを患者様の自己責任で接種している状況でした。

令和6年になって遂に国内での臨床試験をクリアしたため、日本全国でフルミストワクチンの接種が可能となりました。

◇作用機序

鼻腔粘膜に弱毒化されたウイルスが侵入することで免疫獲得が行われます。

従来の注射ワクチンではIgGという抗体のみが誘導されますが、フルミストは直接鼻粘膜に作用してIgAという抗体を粘膜表面に誘導します。そのため、従来のワクチンよりと同等の重症化予防効果だけでなく、より強く、そして長期間持続する感染予防効果を発揮します。

◇対象年齢

2-18歳のお子様を対象となります。

ただし、泣いて暴れてしまうと上手く接種できなかったり、鼻水が増えてしまうと効果が減弱してしまうので、泣かずに一人で座って接種できるお子様に接種することをお勧めします。

諸外国では成人も接種可能となっていますが、今回日本で承認が出たワクチンの対象年齢

は2-18歳のみとなっておりますのでご注意ください。

万が一有害事象が発生した際の補償ができないため、いかなる理由があっても対象年齢外の方への接種はお断りさせていただきます。

◇接種方法

両鼻腔に0.1mlずつワクチンを噴射するだけで接種が完了します。

とくに鼻をすすって薬液を吸い込んだりする必要はありません。

◇接種回数

いずれの年齢のお子様も1回のみです。

従来のワクチンより効果持続時間が長いと言われており、1回の接種でインフルエンザの流行期をまるまるカバーできます。

◇接種料金

一律9500円 クレジット決済のみ

従来の注射ワクチンが12歳未満では3000円×2回→6000円、チメロサルフリーワクチン(副反応がでにくいワクチン)では4000円×2回→8000円であるため、多少お値段が高くなっております。

◇予約方法

完全予約制、Web予約でのみの受付となります。

お支払いはクレジットカード決済のみとさせて頂いておりますので、必ずご予約の時点でクレジットカード情報のご登録をお願いいたします。

必ずこのフルミスト確認票とフルミスト問診票(HPに掲載しております)をご一読いただき、注意事項を確認のうえご予約ください。

予約は9/10(火)に仮予約用の診療枠を設けましたので、そちらにお願いします。後日具体

的な日程、お時間の調整のため当院よりお電話申し上げます。

数量限定での接種となりますので、患者様都合によりキャンセル、または注射ワクチンへの変更などはお受けできませんのでご了承ください。もし無断でのキャンセルや当日どうしても注射ワクチンへ変更をされる場合もフルミストの料金をご返金しかねますのでご注意ください。体調不良などで別日への変更をご希望の場合も必ず一度お電話で連絡をお願いいたします。無断での予約変更の場合はフルミスト接種をお断りさせていただき、別途料金を頂いたうえで注射ワクチンでの接種をご案内させて頂く場合がございます。

◇他ワクチンとの接種間隔について

生ワクチンではありますが、他ワクチンへの影響はありませんので接種間隔をあける必要はありません。

◇下記に該当する方は接種をお断りさせていただきます

- ・ 卵、ゼラチン、その他インフルエンザワクチンに対し、重度のアレルギー、アナフィラキシーの既往がある
- ・ 当院または他院で、現在気管支喘息を治療中の方(過去1年間発作がなければ接種可とします)
- ・ 重度の免疫不全である、免疫抑制薬を内服している(ステロイド内服を含む)方
- ・ アスピリンを内服している(川崎病治療中)方
- ・ インフルエンザ罹患中、抗インフルエンザ薬使用中の方
- ・ ギランバレー症候群に罹患したことがある方
- ・ 妊娠中である、妊娠の可能性ある、授乳中である方
- ・ 明らかな発熱がある、鼻汁、鼻閉がひどいなど体調がすぐれない方

※必ず下記 URL よりメーカー添付文書をご確認ください。

https://www.kegg.jp/medicus-bin/japic_med?japic_code=00071428

◇直近でインフルエンザに罹患してしまった場合

インフルエンザ A ないし B に感染してしまっても、従来のワクチンと同様に元気がなったらフルミストを接種することが望ましいです。その場合は 14 日間はあけてから接種いただくようお願いします。

万が一ご家族がインフルエンザに罹患中の場合は接種は控えたほうが望ましいです。抗インフルエンザ薬の予防内服を行った場合は、最終投与から 48 時間以上あけて接種することが推奨されています。

◇副反応

生ワクチンのため、3-4 割の患者様で軽い風邪症状を認めることがあります。

ごく稀に、発疹、じんましん、アナフィラキシーショック、ギランバレー症候群などの重篤な副反応を起こす可能性があります。他のワクチンと比較して高率に合併するということはありません。

鼻粘膜に弱毒化したインフルエンザウイルスを噴霧するため、接種後あまり時間が経たないうちにインフルエンザ迅速検査を受けると偽陽性となることがあります。